

2024 年度春季大会 開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2024 年 5 月 25 日（土）・26 日（日）

会場：オンライン開催

公益社団法人「日本語教育学会」では、最新の研究と実践の成果を発信・共有し、参加者間の交流およびネットワーキングの促進を目的とした大会を年 2 回（春・秋）開催しています。コロナ禍においては全面オンラインで実施していましたが、その後は春季大会をオンラインで、秋季大会を対面で開催することにしています。二つの形式の大会を交互に実施することにより、日本国内外にいる多様な立場や状況にある方々に対し、より柔軟な参加機会を提供することを目指しています。

2024 年度春季大会の有料イベントへの事前参加登録者は 908 名（招待・関係者含む）で、44 都道府県および 7 カ国・地域からの参加がありました。大会期間中は、パネルセッション 2 件、口頭発表 21 件、ポスター発表 18 件が、審査・運営協力員の協力を得て行われました。（詳細は大会プログラムおよび発表要旨をご参照ください。また、大会予稿集は大会終了 2 週間後の 6 月 9 日より無料でご覧いただけるようになっております。）今大会のテーマは「日本語教師養成・研修の最前線とその課題」でしたが、テーマに関連する発表はもちろんのこと、教育実践の方法や、教材・プログラム開発、実際の言語使用の分析など、多様な内容が取り上げられました。

公益社団法人
日本語教育学会 2024年度日本語教育学会春季大会（オンライン開催）

5月25日（土）		5月26日（日）	
無料	10:00-12:00 一般公開プログラム	9:30-12:20 口頭発表 午後の部	
	12:00-13:00 Net-J学会・研究会紹介ブース 【活動紹介等】	9:20-12:30 ポスター発表 午後の部	
	15:30-17:20 賛助団体出展ブース 【活動紹介・書籍紹介・教材紹介等】	12:30-13:20 文庫の部屋	
有料	12:00-13:00 わかばさんいらっしゃい	12:40-13:20 説明会 【日本語教育学会】	
	13:50-15:20 パネルセッション	13:40-15:00 口頭発表 午後の部	
		13:40-15:10 ポスター発表 午後の部	

そのほか、大会の 1 日目には、一般公開プログラム「複言語・複文化主義と日本語教育—教師養成及び教育実践現場の課題と展望—」が開催されました。4 名の登壇者による事例の提供、課題等が示され、その後、オーディエンスからの質問や意見も交えて活発な議論が進められました（調査研究推進委員会）。また、「日本語教育研究・実践ネットワーク (Net-J) 学会・研究会紹介ブース」（学会連携委員会）、「わかばさんいらっしゃい」（チャレンジ支援委員会）の時間が設けられ、賛助団体会員による出展ブースの展示も

ありました。続いて 2 日目には、本学会の現状とこれからのための説明会があったほか、発表者と参加者、あるいは参加者同士が意見交換・情報交換を行う場として「交流の部屋」が設けられました。

2024 年度春季大会は、国内外の多くの方々にご参加いただき、盛会のうちに終えることができました。大会委員会では、参加者の方々からお寄せいただいたご意見を参考に、今後の大会の企画運営の改善に努めてまいります。2 日目の説明会での会長の話にもあったように、本学会は大きな岐路に立っております。会員の皆様をはじめ多くの方々にご参画頂き、公益社団法人としての歩みを進めていきたいと思っております。

次回の秋季大会は、2024 年 11 月 16 日（土）・17 日（日）に、姫路市にて対面で開催の予定です。

（文責：大会委員会）